

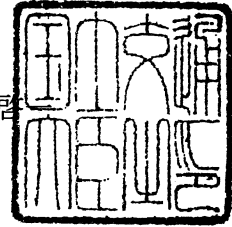


## 認 定 書

国住指第 1663 号  
平成 29 年 9 月 6 日

アイジー工業株式会社  
代表取締役社長 若尾 直 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

### 記

1. 認定番号  
QM-0902
2. 認定をした構造方法等の名称  
ポリエチレン樹脂系フィルム・アルミニウムはく・炭酸カルシウム混抄紙・  
ポリイソシアヌレートフォーム張／合成樹脂塗装溶融 55%アルミニウム－  
亜鉛合金めっき鋼板
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 一般名

ポリエチレン樹脂系フィルム・アルミニウムはく・炭酸カルシウム混抄紙・ポリイソシアヌレートフォーム張/合成樹脂塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板

## 2. 形状・寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表面の形状	平滑、エンボス
厚 さ (mm)	15±2、エンボス深さ：0.8以下
質 量 (kg/m <sup>2</sup> )	3.08±0.31 ~ 4.96±0.50

## 3. 材料構成等

項 目	仕 様
(1) ポリエチレン樹脂系フィルム・アルミニウムはく・炭酸カルシウム混抄紙 (表面材または裏面材)	<p>厚さ(mm)：0.22±0.02            質量(g/m<sup>2</sup>)：209.4±20.9(有機質量(g/m<sup>2</sup>)：91.4±9.1)</p> <p>①ポリエチレン樹脂系フィルム            厚さ(mm)：0.015±0.0015            質量(g/m<sup>2</sup>)：13.8±1.4(有機質量(g/m<sup>2</sup>)：13.8±1.4)</p> <p>②アルミニウムはく            厚さ(mm)：0.012±0.0012            質量(g/m<sup>2</sup>)：33±3.3            合金番号：1N30(JIS H 4160)</p> <p>③ポリエチレン樹脂系フィルム            厚さ(mm)：0.015±0.0015            質量(g/m<sup>2</sup>)：13.8±1.4(有機質量(g/m<sup>2</sup>)：13.8±1.4)</p> <p>④炭酸カルシウム混抄紙            厚さ(mm)：0.158±0.0158            質量(g/m<sup>2</sup>)：135±13.5(有機質量(g/m<sup>2</sup>)：50±5)            組成(mass%)：            炭酸カルシウム 63±4            パルプ(バインダーを含む) 37±4</p> <p>⑤ポリエチレン樹脂系フィルム            厚さ(mm)：0.015±0.0015            質量(g/m<sup>2</sup>)：13.8±1.4(有機質量(g/m<sup>2</sup>)：13.8±1.4)            ・穴あけ加工(またはなし)            直径(mm)：1.2±0.1以下、間隔(mm)：35±4以上            深さ(mm)：14.73±1.47以下</p>

項 目	仕 様
(2) ポリイソシアヌレートフォーム	厚さ(mm) : 14.28±1.43 ~ 14.51±1.45(一般部) 質量(kg/m <sup>2</sup> ) : 0.54±0.05 ~ 0.55±0.06 (有機質量(kg/m <sup>2</sup> ) : 0.54±0.05 ~ 0.55±0.06) 密度(kg/m <sup>3</sup> ) : 38±4 イソシアネート指数 : 375 組成(mass%) : ポリイソシアネート(ポリメリックMD I) 66±7 ポリエーテル系ポリオール 5±3 ポリエステル系ポリオール 21±4 難燃剤(りん・ハロゲン系) 4±2 三量化触媒、整泡剤等 4±3 発泡剤(HFO系) 8.0±3(外割)
(3) 合成樹脂塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(裏面材または表面材)	厚さ(mm) : 0.27-0.05, +0.10 ~ 0.50-0.06, +0.11 質量(kg/m <sup>2</sup> ) : 2.320±0.232 ~ 4.209±0.421 (有機質量(g/m <sup>2</sup> ) : 56.9±5.7以下) ①合成樹脂塗料(裏面) 質量(g/m <sup>2</sup> ) : 26.5±2.7以下(固形量) (有機質量(g/m <sup>2</sup> ) : 16.0±1.6以下) ※上塗、下塗の合計 ①-1 合成樹脂塗料(上塗) (a)、(b)いずれか一仕様 (a) エポキシ樹脂系塗料 質量(g/m <sup>2</sup> ) : 26.5±2.7以下(固形量) (有機質量(g/m <sup>2</sup> ) : 16.0±1.6以下) 組成(mass%) : エポキシ樹脂 60.3±4.0以下 無機質顔料等 39.7±4.0以上 (b) ポリエステル樹脂系塗料 質量(g/m <sup>2</sup> ) : 26.5±2.7以下(固形量) (有機質量(g/m <sup>2</sup> ) : 16.0±1.6以下) 組成(mass%) : ポリエステル樹脂 60.3±4.0以下 無機質顔料等 39.7±4.0以上 ①-2 合成樹脂塗料(下塗) (a)~(c)のうち、いずれか一仕様 (a) エポキシ樹脂系塗料 質量(g/m <sup>2</sup> ) : 26.5±2.7以下(固形量) (有機質量(g/m <sup>2</sup> ) : 16.0±1.6以下) 組成(mass%) : エポキシ樹脂 60.3±4.0以下 無機質顔料等 39.7±4.0以上 (b) ポリエステル樹脂系塗料 質量(g/m <sup>2</sup> ) : 26.5±2.7以下(固形量) (有機質量(g/m <sup>2</sup> ) : 16.0±1.6以下) 組成(mass%) : ポリエステル樹脂 60.3±4.0以下 無機質顔料等 39.7±4.0以上 (c) なし

項 目	仕 様
(3) 合成樹脂塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (裏面材または表面材)	②溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)
	厚さ(mm) : 0.27±0.05 ~ 0.50±0.06
	(原板厚さ(mm) : 0.27、めっき付着量の記号 : AZ150)
	質量(kg/m <sup>2</sup> ) : 2.320±0.232 ~ 4.125±0.413
	③合成樹脂塗料(表面)
	③-1 合成樹脂塗料(下塗) (a)、(b)のうち、いずれか一仕様
	(a) エポキシ樹脂系塗料
	質量(g/m <sup>2</sup> ) : 16.0±1.6以下(固形量)
	(有機質量(g/m <sup>2</sup> ) : 9.6±1.0以下)
	組成(mass%) :
エポキシ樹脂	60.3±4.0以下
無機質顔料等	39.7±4.0以上
(b) ポリエステル樹脂系塗料	
質量(g/m <sup>2</sup> ) : 16.0±1.6以下(固形量)	
(有機質量(g/m <sup>2</sup> ) : 9.6±1.0以下)	
組成(mass%) :	
ポリエステル樹脂	60.3±4.0以下
無機質顔料等	39.7±4.0以上
③-2 フッ素樹脂系塗料(上塗)	
質量(g/m <sup>2</sup> ) : 41.0±4.1以下(固形量)	
(有機質量(g/m <sup>2</sup> ) : 31.3±3.1以下)	
組成(mass%) :	
フッ素樹脂	76.3±2.4以下
無機質顔料等	23.7±2.4以上

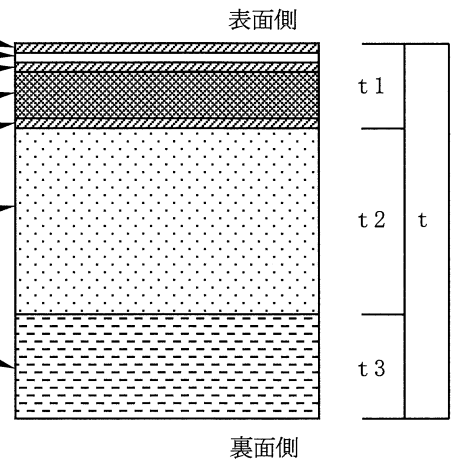
#### 4. 構成断面等(単位：mm)

(1) ポリエチレン樹脂系フィルム・アルミニウムはく・炭酸カルシウム混抄紙

- ① ポリエチレン樹脂系フィルム
- ② アルミニウムはく
- ③ ポリエチレン樹脂系フィルム
- ④ 炭酸カルシウム混抄紙
- ⑤ ポリエチレン樹脂系フィルム

(2) ポリイソシアヌレートフォーム

(3) 合成樹脂塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板



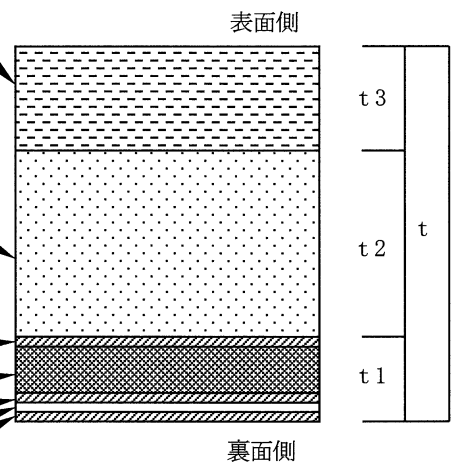
t : 15  
 t1 : 0.22  
 t2 : 14.28 ~ 14.51  
 t3 : 0.27 ~ 0.50

(3) 合成樹脂塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板

(2) ポリイソシアヌレートフォーム

(1) ポリエチレン樹脂系フィルム・アルミニウムはく・炭酸カルシウム混抄紙

- ⑤ ポリエチレン樹脂系フィルム
- ④ 炭酸カルシウム混抄紙
- ③ ポリエチレン樹脂系フィルム
- ② アルミニウムはく
- ① ポリエチレン樹脂系フィルム



#### 5. 注意事項

- (1) 本仕様は、表面側及び裏面側のいずれかの面から加熱を受けても所定の防火性能を有する。
- (2) 本仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように材料端部及び目地部の処理などを適切に行う必要がある。
- (3) 本仕様を施工するに当たっては、火災時に本仕様材料が落下・脱落などが生じないように、施工方法に注意すること。